

主要施設地区に係る複数案の検討及び選択

(1) 施設配置計画案の比較

第 1 案

北地区において、デッキレベルから取付けデッキを接続し、海上町地内において現在耕作に利用されている区域等に屋外型展示空間(領域型)を設置する案

(図2 - 2 - 1(1), (2))

第 2 案

(1) の展示空間を設置せず、同程度の観客収容能力を持つ展示面積を屋内展示空間(トポス型)として確保する案(増加する部分の展示空間の位置は複数の候補が考えられる。)

(図2 - 2 - 1(3), (4))

	第 1 案	第 2 案
デッキ(トポス広場)	280,000 m ²	278,000 m ²
屋内展示空間(トポス型)	200,500 m ²	220,500 m ²
屋外型展示空間(領域型)	94,500 m ²	55,000 m ²
歩行者空間	120,000 m ²	116,500 m ²
サービス施設	30,200 m ²	29,500 m ²
管理施設	26,000 m ²	26,000 m ²
バスロータリー	50,000 m ²	50,000 m ²

表2 - 2 - 1 主要施設地区における施設面積
(デッキレベル及びグラウンドレベルの合計面積)

(2) 施設配置計画案の選択

施設配置計画の第 1 案において検討対象とした屋外型展示空間(領域型)の整備面積は、39,500 m²である。

第 2 案においては、屋内展示空間(トポス型)を第 1 案より 20,000 m²増加させることとなる。このため第 1 案と比較すると、施設内容の違いから生ずる工事量の増加、入場者の垂直移動距離の増加に伴うエネルギー消費量の出量の増加等環境負荷の増加が想定される。

従って、施設配置計画案の検討過程において、環境への負荷低減の観点から第 1 案を選択することとしたものである。

なお、今後の検討過程においても、計画の熟度に応じて複数案の比較・検討を行い、環境への負荷低減に努めることとする。

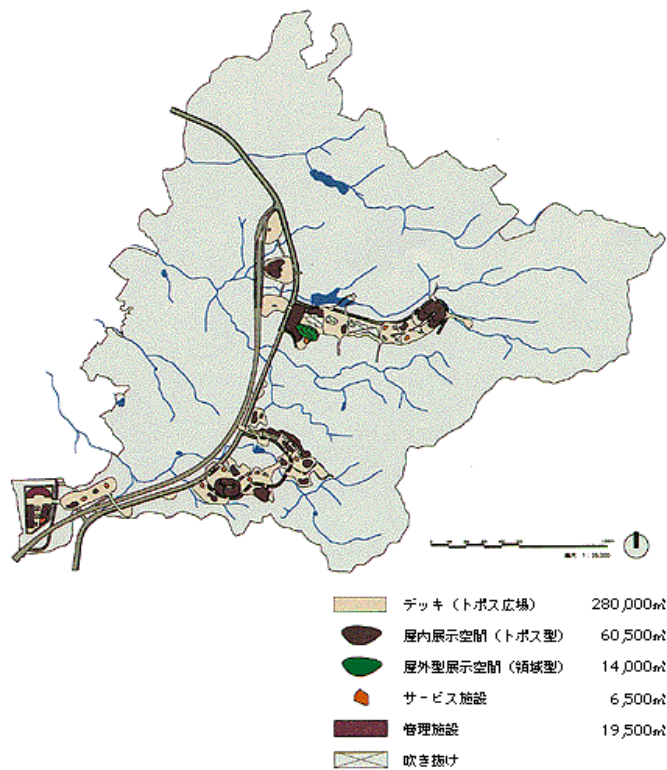


図 2 - 2 - 1 (1) 主要施設地区 施設計画第 1 案（デッキレベル）

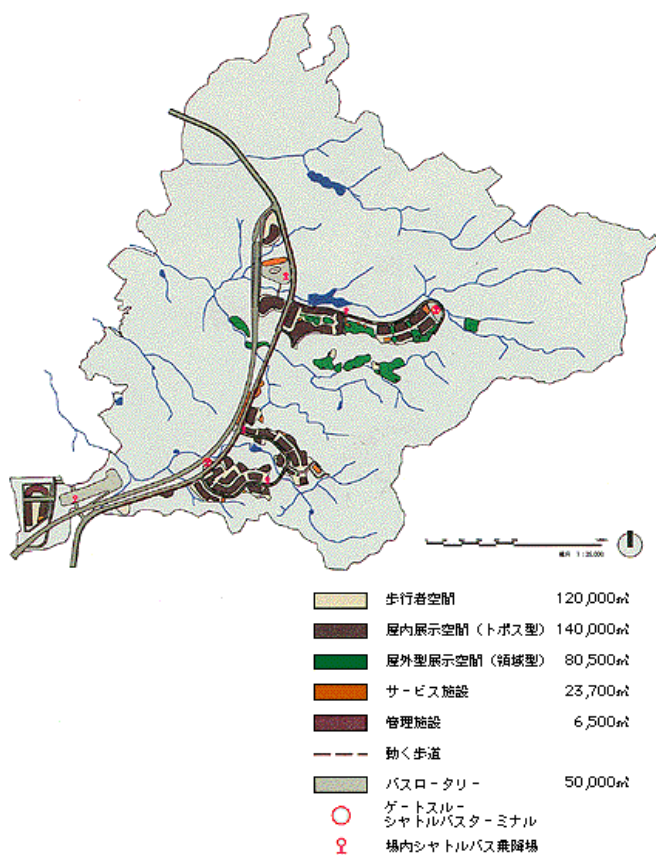


図 2 - 2 - 1 (2) 主要施設地区 施設計画第 1 案（グランドレベル）

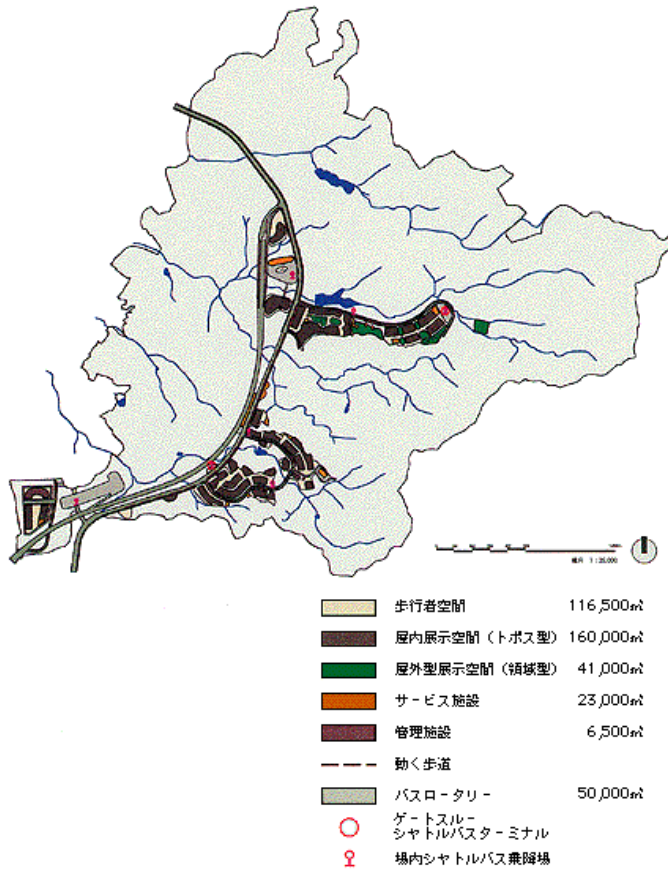


図 2 - 2 - 1 (3) 主要施設地区 施設計画第 2 案（デッキレベル）

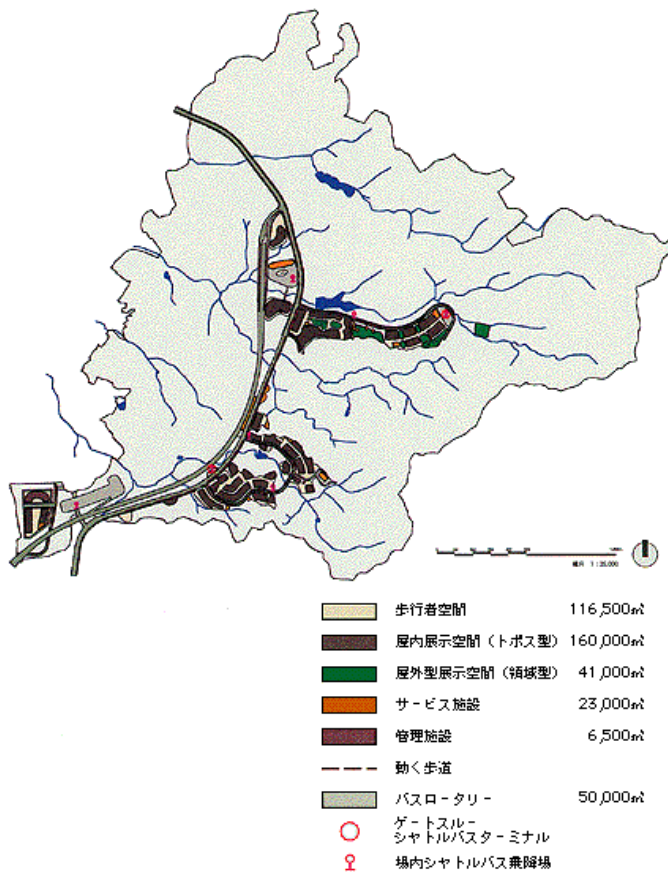


図 2 - 2 - 1 (4) 主要施設地区 施設計画第 2 案（グラウンドレベル）